

トピック④-4 “TV / ディスプレイ”

ViX - 121006_ceatec_displayのみ

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 画像(P) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_displayのみ

IMG_4102

ソニー
4Kパネルでの3D液晶。メガネあり。右目左目を水平の偶数行奇数行で分けて表示させるタイプ。実効的には4K1K表示@片目の状態。

IMG_4104

メガネは今までよりあるタイプよりも薄くて軽く好印象。映像は、紙っぺらな薄いものが手前と奥に重なって配置されているように自分には見えた。3D自体は今ひとつな印象

IMG_4106

同じフルHDソースをそのまま2Kパネル表示(奥)したものと、アップコンバートして4K表示にしたものを並べたデモ。ソースが同じでもアップコンバートした4Kの方が一目でくっきり感がわかる

IMG_4108

ソニーでは超解像技術のことを“4K X-Reality PRO”と呼んでいるよう。フルHD映像を超解像処理してから4Kにアップスケールするのが味増らしい。理由はよく自分にはわからない

IMG_4109

さっきの4K1Kのガラスあり3Dのゲームへの応用。同じTVで二人プレイの対戦ゲームをやった時にメガネを分けることにより、1プレイヤー及び2プレイヤーにそれぞれ自分目線の映像を表示可能とさせていた。こちらは5分待ち程度。

IMG_4156

パナソニック。
20型4K2K液晶と、145インチ8K4Kプラズマディスプレイのデモ。

(F:)空きディスク領域: 35.2 GB

1 個のファイル / 312 KB / 1920 x 1280 24bit

トピック④-5 “TV / ディスプレイ”



IMG_4158



IMG_4159



IMG_4160

20型4K2K液晶。もはやドットが視認不能。むちゃくちゃ綺麗。だけども見慣れないせいか、アンドロイドの皮膚の様に怖いツルツルな映像に見えた

左の液晶の展示パネル。薄さ、低消費電力、広視野角、解像度アピール

145型PDP。8K4K。今年5月のNHK技研公開で展示されたものと同じ。映像ソースも同じ。この大きさでかつ8K4Kだと3Dでもないのに画面の奥行きを感じるの不思議



IMG_4161



IMG_4184



IMG_4190

8K4Kプラズマパネルの説明展示パネル
まあしかし、まだこのレベルは民生用としては残念ながら現実感が全くない。

計測技研ブース。大手会社ではないのでブースはこの写真に納まっている範囲のみ。しかし、業務用の世界では名の知れた企業。

計測技研の業務用リアル4K2K3Dディスプレイ。横から見た図。メガネ必要。筐体内に4K2KパネルがL字型に入っており、底面にあるLCD映像は斜めに入っている半透過ミラーで視聴者に。受注販売でお値段¥1千万程度。

(F:)空きディスク領域: 35.2 GB 1 個のファイル / 274 KB / 1920 x 1280 24bit

トピック④-6 “TV / ディスプレイ”

IMG_4191

こちらも業務用の世界ではそれなりに有名。アストロデザイン。

IMG_4192

アストロデザインの4K2K60型業務用モニター。Q「民生用の4K2Kパネルと業務用は何が違うのか？」⇒A「業務用は縦作印はしません。ありのままを映します」東芝55インチ裸眼3Dディスプレイを3台横に並べてデジタルサイネージ(デジタル広告)をアプリとしてアピールしていた。

IMG_4197

裸眼立体映像伝送WG ブース

IMG_4198

URCF 超臨場感コミュニケーション産業学フォーラム

「東芝製55インチ裸眼3Dディスプレイ(参考展示)は目を連結設置し、超臨場感デジタルサイネージコンテンツ(試作)の展示をします。裸眼立体実写映像を中心に、未来の3Dデジタルサイネージを体感してください」

IMG_4200

多視点・自由視点WG ブース。5枚のディスプレイを中央にいる人物に向けて傾けて配置してある。流れている映像は歩いている人の視点になっている。臨場感のある映像を触れ込んでいたが…ビミョー

IMG_4217

NHK。SHV:スーパーハイビジョンデモ

パネルはシャープ8K4K84インチ液晶ディスプレイ

映像ソースは最後のスペースシャトル発射。共に5月の技研公開時と同じ

(F:)空きディスク領域: 35.2 GB

1 個のファイル / 213 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他①-1

“やっぱりデジカメ / 撮像素子”

ViX - 121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

画像センサ SMART EYE SENSOR™

※画像センサ1枚で、人物の存・不在、検出人数、活動量をリアルタイムに検知します。
 ※人の動きに応じた照明・空調の最適制御を実現します。
 ※省エネと快適性の両立に貢献します。

IMG_4077

東芝。人感センサ。
従来の赤外線センサの熱感知方式から、画像取得する方式へ変更。
広視野領域化、検知制精度upにより、誤って照明が落ちることがなくな

SMART EYE SENSOR™ for BEMS

IMG_4078

左の東芝人感センサデモ。
画処理アルゴリズムを最適化することにより省エネ化も図られているとか

レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー
NEX-VG900

- 有効画素2430万画素
- 35mmフルサイズExmor CMOSセンサー
- 内蔵アダプターでAマウントレンズも装着可能
- AVCHD 1920×1080 60p/50i/24p撮影機能
- 4カプセルサウンドマイク3本搭載
- 高解像度 XGA OLED Tru-Finder 採用

発売予定日 10月22日
 オープン価格 (消費税別価格 ¥15,000税別)

HANDYCAM.

IMG_4111

ソニー。
びつりのEマウントにフルサイズ35mmセンサー搭載カムコーダー。
NEX-VG900

IMG_4113

レンズ交換式。写真のレンズはツァイス。持ってみるとフロントヘビーで運用はしにくく、正直売れないだろうなと。ソニーの英断は世の中にフルサイズ対応Eマウントレンズが一本もない状態でハードを発売したこと

IMG_4114

Eマウントから中を覗いた図。
マウント径ギリギリなのがわかる。
これで“フルサイズNEX@デジカメ”に近い将来発売されるのは確実

デジタルスチルカメラ

ESC-RX1

- 有効画素1410万画素
- 35mmフルサイズExmor CMOSセンサー
- フルサイズマウントアダプター「F」対応
- 解像度 2430万画素
- AVCHD 1920×1080 60p/50i/24p撮影機能
- 高解像度 XGA OLED Tru-Finder 採用

発売予定日 10月22日
 オープン価格 (消費税別価格 ¥15,000税別)

Cyber-shot

IMG_4120

今年のソニーは色々な意味で凄い！
こちらは¥25万のコンパクトデジカメ サイバーショットRX1。
ただのコンパクトではなく、こちらも35mmフルサイズセンサー搭載！！

(F)空きディスク領域: 35.2 GB 1 個のファイル / 245 KB / 1280 x 1920 24bit

全体から見ればトピックではないが その他①-2

“やっぱりデジカメ / 撮像素子”

ViX - 121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

IMG_4121

ソニー RX1 このたまたまいいかい。レンズはツァイス35mmF2単焦点。センサー画素数は2430万画素

IMG_4122

フルサイズ3兄弟の長兄、α-99 ←デジタル一眼レフカメラの分解図。

IMG_4123

NEX-5R 名機の管れ高い5Nの後継機。APS-C機。まあしかし今回はマイナーチェンジモデルか？

IMG_4125

α99分解図より 〜ソニー自慢の有機EL EVF Tru-Finder 実機を覗いてみたが、まだ個人的にはOVFの勝ちかなと思う。解像感もそうだが、色が自分にはどきどきと慣れない

IMG_4128

今回恐らく会場で唯一の撮像素子単体展示
ソニーのサイズ別。
左からフルサイズ35mm、APS-C、1インチ

IMG_4130

フルサイズ α99搭載のもの。NEX-VG900もこれと同じセンサーであると発表されていたはず。RX1には恐らく(ほぼ同じものと思うが、公式には「像面AFがない別開発のもの」とされていた。

(F:)空きディスク領域: 35.2 GB 1 個のファイル / 375 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他①-3 “やっぱりデジカメ / 撮像素子”

ViX - 121006_ceatec_デジカメ・撮像素子のみ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_デジカメ・撮像素子のみ

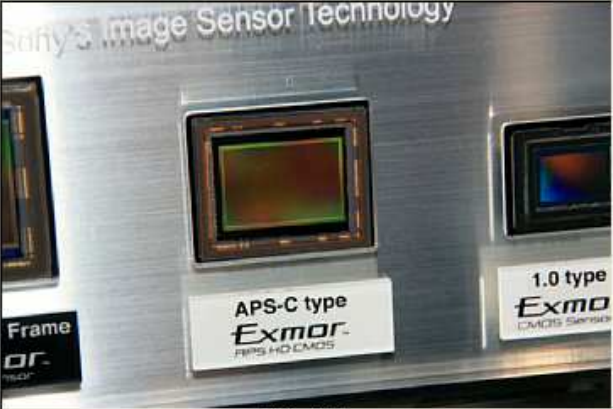


technology

1.0 type
Exmor
CMOS Sensor

IMG_4131

1インチセンサ RX100搭載
他のセンサはパッド・ボンディングは4辺出し。このセンサだけ、右と下の2辺出しというのが特徴的。片側読み出ししてる？



Sony's Image Sensor Technology

Frame
OR

APS-C type
Exmor
CMOS Sensor

IMG_4132

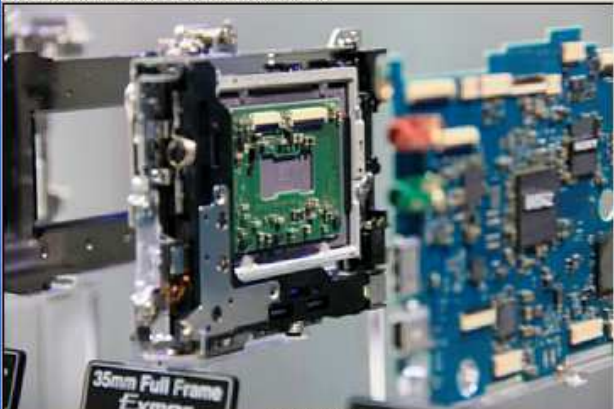
恐らく世の中に多く出回っている 2400万画素センサ@APS-C



Translucent
Mirror Technology
Full-size Collection of

IMG_4134

ソニー自慢のTranslucent部分。しかしこの展示とこの写真じゃよくわからず。これで廉価機のα55でも10コマ連射は尊敬するが、しかし光をわずかにロスする時点で、本質的には筋の悪い技術ではなからうか



35mm Full Frame
Exmor
CMOS Sensor

IMG_4137

α99分解図。センサ表面。
バーコードを読むためか、センサ放熱の何かをつけるためか、センサ基板中央は、基板に穴が開いていることを確認



デジタル一眼カメラ α99

SLE-A99V

- ・世界初14bit階調
- ・世界初14bit階調 CMOSセンサー
- ・α99は従来比1.5倍高速連写(10コマ/秒)
- ・世界初1.7μmピクセルサイズを実現
- ・フルサイズセンサーでα99は1000万画素
- ・高画質のXGA QLED Thin-Transistor 液晶

発売予定日：2014年10月
メーカー価格：149,800円(税別)

IMG_4139

ソニーα99
注目は、豊富な動画機能と、世界初を謳う、センサ像面位相差AFと通常位相差AFのデュアルAFシステム。どれだけ速いの？



SONY

IMG_4143

α99
何ともグラマラスな という表現しか個人的には思いつかない個性的な外観。グリップとシャッターボタンの位置関係はキャノン機の方がしっくりきて好み

(F:)空きディスク領域: 35.2 GB 1 個のファイル / 200 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他①-4 “やっぱりデジカメ / 撮像素子”

ViX - 121006_ceatec デジカメ 撮像素子のみ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec デジカメ 撮像素子のみ

IMG_4144

ソニー
新しいミラーレスラインアップ NEX-6
APS-C 5Rの兄貴分という位置づけのよう

IMG_4167

パナソニック
ノートPCのブースと共に、脇役の様にひっそりと小さめのLumixブースが設けられていた

3本のLumixレンズの分解図

IMG_4168

IMG_4169

他のミラーレスマイクロ4/3rdsのbody展示もしてあったが、私の興味は最上位マイクロ4/3rds最上位機種 GH2後継 GH3。
インアップのGH3のみ。
その分解図。このショーケース展示だけではちょっとセンサ情報は何も読み取れ。これもショーケース展示

IMG_4170

IMG_4171

ここ数年 “デジー動画” と言えば、EOS5Dmark2 か GH2 かという状態で、このGH3は動画データ出力レートが何と72Mbps！
センサ画素数は16.1Mpix。本体重量550g。さすがμ4/3rds、軽い

(F)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 404 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他①-5

“やっぱりデジカメ / 撮像素子”

ViX - 121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec デジカメ・撮像素子のみ

1200H スーパーハイビジョンイメージセンサー

IMG_4213

NHK
来る2020だったかの8K4K普及に向けた撮像素子開発
3300万画素(8K4K)120fps 撮像素子@モノクロ 1.5インチ

3300万画素 1.5インチ CMOSイメージセンサー

IMG_4214

これも今年5月の技研公開時のものと同じだった。
恐らく静岡大学と共同開発。そうだとすると2段構成サイクリック型列ADCセンサ

ソニー
Exmor RS系の方々に今熱い分野にソニーも参入。
フルHD解像度のウェアラブル小型ビデオ。写真はハウジングに入ったところ

ZIMG_4115

HDR-AS15
デジタルHDビデオカメラレコーダー
・広角の170°超ワイド撮影
・60mmの超浅景深
・1000fpsの超高速撮影
・電子防振
・Wi-Fi接続、スマートフォンで操作可能

ZIMG_4116

Go pro が切り開いたこの分野にJVCとソニーも参入。
御多分に漏れずソニーも広角170°で撮影可能。お値段¥3万程度だった

ハウジング抜き本体
液晶ディスプレイは本体にはついていない。別売り。ただしWiFiでスマホやタブレット端末からの操作と画像確認が可能。ウェアラブル用アクセサリキットも別売り

ZIMG_4223

_CATALOG

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 239 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-1

ViX - 121006_ceatec_etc

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_etc

IMG_4040

ロボット相撲大会、親子電子工作教室 みたいなイベントも会場では行われていた

IMG_4044

NTT docomo ハンズフリーヘッドホン(電話)
超広角カメラ2個で、このメガネ上の至近距離でも自分撮り可能
しかしこれはかなり微妙じゃ・・・(´д´)

IMG_4046

左実物
今までのTV電話は、自分撮りするためにカメラを保持して両手がふさがる課題を解決した というアピール。

IMG_4047

同じくdocomo
おしゃべりロボット。これからのスマートな時代に向けて何でもロボット癒し系ロボットとして？ 何かこれもビミョー

IMG_4049

ドコモ 電車の中でつり革に捕まって片手でスマホ操作 みたいなのを想定。スマホの手で握る位置によって操作をアサインしておき、片手でストレスなく操作を
実現。これは是非実用してほしい

IMG_4051

左と思想は同じ。
今度は目線の位置を検知して、スマホで読書やwebページのページ送りや戻しを行える機構。これも実現できれば便利そう

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 350 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-2

ViX - 121006_ceatec_etc

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_etc

IMG_4079

東芝 スマートシリーズ
スマートコミュニケーションテーブル 他の会社でも同じものを展示しているところがあった。テーブルに液晶が仕込まれていて、表示してあるものをドラッグ等可能

IMG_4088

東芝 ダイナブック
どこも同じでつまらないな〜と思うが、タブレット&ノートpc兼用ガジェット

IMG_4092

左に続き、お次は富士通
やはりタブレット&ノートpc兼用ガジェット
win8搭載

IMG_4093

富士通 は今やノートpcとかはメインどころじゃなくて完全にIT企業
スパコン京の一つのサーバーラックなど展示し、おねーさんが解説

IMG_4100

ソニー 電子リーダー専用端末
まあこれもある意味今海外メーカー、通信会社と覇権争いが激しい分野。ソニー生き残れるか！？

IMG_4145

ソニー nasne
あの発売日前日の輸送でHDDトラブルが続発し、発売日が延期されて電機業界で話題になった機器も無事展示

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 233 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-3

ViX - 121006_ceatec_etc

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(O) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_etc

IMG_4146

パイオニア だったはず
非接触充電システム ←EV用
何故パイオニアがこの分野？ カーナビ繋がり？

IMG_4153

パイオニア フロントウィンドウ表示型のカーナビシステム
最近歳か、目線をナビに向けて下げて、ヒヤッとすることがある。
これはありがたい。もう発売してる？

IMG_4165

パナソニック レッツノートのウルトラブック
これはギミックが面白かった。ノートPCを開いて、スライド式とかではなく、そのままぐると反対側に背中がくっついちゃう感じ

IMG_4166

これでウルトラブックの薄さ規定を満たして、
レッツノートはこれまで”タブ”さがシリーズのポリシーであったが、そのタブさの規定も満たしているとのこと

IMG_4174

NECの7型タブレット。
他社に比べて圧倒的に軽い！！これなら持ち歩ける

IMG_4175

かつ、かなり面白い機能が！。ディスプレイ中のサイコロは端末を振ると動くのだが、壁に当たった時に、持った人の手にその感触を返してくる。これがゴムボールであればまた感触が変わる。何かに使える気がする

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 250 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-4

ViX - 121006_ceatec_etc

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_etc

IMG_4177

NEC 電子黒板
これも意味ちょっと前にboom?になったジャンルが、プラズマってのに意味は?しかもNECってやってたっけ?

IMG_4178

私的にはマイナー企業で初めて知った感じですが、なかなか辛いところに手が届くモノを作っていたので。

IMG_4179

加賀ハイテック pcのUSBポートに接続して各種I/Oを増設するユニット。最近ウルトラブックやタブレット流行りでまともにインターフェース持っていないのが多いので使えるかも

IMG_4181

加賀ハイテック 更にこれはいけてると思いました。複数台のpcをこのユニット経由でUSB接続すると、dualディスプレイ環境が構築出来、かつファイルをドラッグ&ドロップでpc間を移動させられる

IMG_4182

左のユニットの実写
デモではwinマシン同士の接続でしたが、ネット記事ではwin-mac間でもファイルのドラッグ&ドロップが可能とか。両OS運用してる方には便利!

IMG_4184

ディスプレイでも出てきた計測技研

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 354 KB / 1280 x 1920 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-5

ViX - 121006_ceatec_etc

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 画像(I) カタログ(C) フォルダ(D) その他(O)

アドレス F:\pictures\121006_ceatec_etc

IMG_4187

計測技研 手前入力HDMI4系統、奥(写真写っていない)出力HD-SDI4系統のコンバータ。デジも含め、最近HDMI出力の民生機も増えてきたのでその変換用に

IMG_4188

計測技研 安価な3D製作ソリューションの一端。緑のパネルのユニットが、4K収録可能なかつ二台で同期可能なレコーダー。右の写真のシステム出力を収録可能

IMG_4189

計測技研 手前は、JVCのGY-HMQ10という4Kカムコーダーを3Dリグにセットした図。一台は奥から、もう一台は下からセットされてラップみたくに見えるところでハーフミラーで下からのものは折り返されて、安価に4K2K3D撮影可能なシス

IMG_4191

ディスプレイのところで出て来た アストロデザイン 名前のイメージに反して、純粋な日本メーカー

IMG_4194

アストロデザイン 4製品ラインアップ
撮影 - 収録 - 再生 - モニタ - 編集 - スイッチング
一通り揃ってますアピール

IMG_4195

アストロデザイン
4K収録可能な非圧縮SSDレコーダ

(F:)空きディスク領域: 35.9 GB 1 個のファイル / 359 KB / 1920 x 1280 24bit

全体から見ればトピックではないが その他②-6

